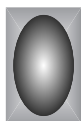


# INFORMATION



## 公益信託 時実利彦記念賞 平成 21 年度申請者の募集について

当基金は、下記要項により平成 21 年度申請者の募集を致します。

記

### 1. 趣 旨

脳研究に従事している優れた研究者を助成し、これを通じて医科学の振興発展と日本国民の健康の増進に寄与することを目的とする。

### 2. 研究テーマ

脳神経系の統合機能及びこれに関連した生体の統合機能の解明に意義ある研究とする。

### 3. 研究助成金

「時実利彦記念賞」として賞状及び副賞（研究費）200 万円を授与する。

### 4. 応募資格

原則として 55 歳以下とする。

### 5. 応募方法

所定の申請書に必要事項を記入し、主要論文のうち代表的なもの 3 篇以内の別刷一部を添付の上、下記事務局宛送付する。

- ・申込締切日 平成 20 年 12 月 22 日(月)必着
- ・申請用紙は、下記事務局宛請求する。

＜公益信託 時実利彦記念脳研究助成基金事務局＞  
〒100-8212 東京都千代田区丸の内 1-4-5  
三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部  
公益信託グループ 担当 宮下  
Tel 03-3212-1211 内 3374  
Fax 03-6214-6253



## 千里ライフサイエンスセミナー 免疫・感染症シリーズ第 2 回「新興・再興感染症のトピックス」

日 時：平成 21 年 1 月 30 日(金)10:00~17:00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル 5 階  
ライフホール

着眼点：近年、トリインフルエンザ、SARS、BSE、薬剤耐性菌感染など新興・再興感染症が我が国および世界に様々な影響を与えている。本セミナーでは、感染現象の本質的理解に大きな進展をもたらした最近の研究成果に関する 3 題と感染症の診断、予防、治療に関する最新の話題 3 題の講演をお願いする。

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア

研究センター 木下タロウ  
理化学研究所感染症研究ネットワーク支  
援センター 永井美之

プログラム：

1. ペア型レセプター PILR を介した新たな単純ヘルペスウイルス感染機構  
大阪大学免疫学フロンティア研究センター  
免疫化学研究室 荒瀬 尚
2. 細菌多剤耐性の分子基盤：多剤排出トランスポーターの構造と機能  
大阪大学産業科学研究所 山口明人
3. インフルエンザ研究最前線

東京大学医科学研究所

感染症国際研究センター 河岡義裕

4. 病原体遺伝子検出の技術革新—「新興・再興感染症研究拠点形成プログラム」から—

理化学研究所感染症研究ネットワーク

支援センター情報チーム 岡本仁子

5. 新規抗インフルエンザ剤 T-705 について  
富山化学工業（株）事業開発部 古田要介
6. エイズワクチン開発の国際共同研究, センダイ・ベクタープロジェクト始まる

東京大学医科学研究所

感染症国際研究センター 俣野哲朗

ディナベック（株） 長谷川護

定員：300名

参加費：無料

申し込み要領：

- 1) 氏名、勤務先、〒所在地、所属、電話および FAX 番号を明記の上、郵便、FAX または E-mail で下記宛お申し込み下さい。
- 2) 事務局より参加証を送付します。
- 3) 参加証は、セミナー開催当日、受付で提示ください。

申込先：（財）千里ライフサイエンス振興財団セミナー Y3 事務局

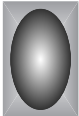
〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町 1—4—2

千里ライフサイエンスセンタービル 8 階

TEL 06-6873-2001 FAX 06-6873-2002

E-mail tkd@senri-life.or.jp



## 千里ライフサイエンスセミナー

### 「幹細胞と多能性」

日時：平成 21 年 1 月 9 日（金）10：00～16：50

場所：千里ライフサイエンスセンタービル

5 階ライフホール

#### 趣旨

昨年 11 月、山中教授がヒト iPS 細胞株樹立を報告しました。これに対し、我が国は異例ともいえる早さで研究支援を決定し、手始めに昨年暮 iPS についてシンポジウムを開きました。その後、世界中で iPS について様々な角度から研究が加速しています。事実、幹細胞に関するどの会議でも、iPS のセッションが最も多くの聴衆を集めています。

今回の千里ライフサイエンスセミナーは山中報告から約 1 年目に当たります。この節目に、山中教授を含め昨年暮れの JST 主催のシンポジウムの演者を中心に集まっていたいで、それぞれの一年を振り返ってもらうことを目的にしています。何ができて何ができなかったか、世界ではどのような研究が進んでいるのか、この結果見えてきた未来とは、そしてこの技術を生んだ我が国の

課題は、など、自由に語っていただこうと企画しています。

コーディネーター：理化学研究所発生・再生科学総合研究センター 西川伸一

#### プログラム

##### 多能性とリプログラム

1. はじめに：iPS 研究のルーツ

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター 西川伸一

2. 分化多能性を制御する転写因子ネットワークの基本骨格

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター 丹羽仁史

3. iPS 細胞の可能性と課題

京都大学 iPS 細胞研究センター 山中伸弥  
トランスレーショナルリサーチから臨床応用への問題点

4. 幹細胞と網膜再生

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター 高橋政代

5. iPS細胞を用いた神経再生戦略

慶應義塾大学医学部生理学教室 岡野栄之

6. iPS細胞の臨床応用に向けた有効性と安全性  
の評価

自治医科大学分子病態治療研究センター  
花園 豊

7. 総括と展望：幹細胞研究の将来

理化学研究所

発生・再生科学総合研究センター 西川伸一

参加費：無料

申込要領：氏名，勤務先，〒所在地，所属，電話  
番号，Eメールアドレスを明記の上，

Eメールで下記宛お申し込み下さい。  
件名は「千里ライフサイエンスセミ  
ナー」として下さい。

申込先：(財)千里ライフサイエンス振興財団セミ  
ナー Y4係 村上和久

〒560-0082

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

E-mail：sng@senri-life.or.jp

TEL：06-6873-2001

URL：http://www.senri-life.or.jp

主催：(財)千里ライフサイエンス振興財団